

教育の不易と流行

配慮の必要な子に優しい支援

日時 令和8年1月10日（土）10:00～16:00

場所 霞城セントラル3階 山形市保健センター 大会議室

〒990-8580 山形市城南町1-1-1

内容 ◆講演1：「学びに向かう子どもを育てる支援」

◆講演2：「医師が考える特別支援教育の不易」

※ どちらか一方への参加も可能です。

「主体的対話的で深い学び」「GIGAスクール」「個別最適」「協働的」……。教育界にも新しい流れが急速に入ってきています。現代の子ども達の諸課題に対応していくための大切な学び方です。

一方、特別な支援を要する子ども達にとっては、理解が進みにくい場面も見受けられるようです。そこで今回は、酒井智子氏より、配慮の必要な子への手立てはどの子にも分かりやすいことを念頭に、ずっと大切にしていきたい支援について具体的にお話しいたします。また、横山浩之氏より、その支援に対し医師からの意味付けをしながら特別支援教育の不易についてお話しいたします。

講師

◆元山形市立第三小学校 校長

前東北文教大学付属幼稚園 園長

酒井 智子 氏



昭和54年より小学校教諭。天童市教育委員会学校教育課長、山形県教育庁義務教育課長を経て、山形市立第三小学校長を最後に退職。その後、学校法人東北文教大学付属幼稚園長を7年勤め、令和4年3月に退職。現在、山形市立第四小学校地域学校共同活動推進員。

天童市教育委員会では、特別支援教育の3年研修システムを企画。県教育委員会義務教育課長時には、「学習指導力、生徒指導力、特別支援教育力」をもつ「担任力」の推進にも携わる。幼児教育では、「遊びは学び」を研究。

◆福島県立医科大学

ふくしま子ども・女性医療支援センター医学部小児科 教授
「にゃっき〜ず」理事

横山 浩之 氏



東北大学医学部卒。発達障害を中心とした子どもの行動異常のスペシャリスト。診断・療育から子育て支援まで、医療と教育との連携が研究テーマ。ペアレント・トレーニングの指導も行っている。東北大学病院小児科に知的発達支援外来を創設。山形大学医学部看護学科教授をへて、平成28年4月より現職。著書「マンガでわかる よのなかのルール」（小学館）など。

日本小児科学会・小児神経学会専門医。医学博士。

主催 特別支援教育セミナーin山形 実行委員会（代表：武田 豊己）

後援 山形県教育委員会

日 程

●午前の部 10:00 開場

10:30～12:00 講演1「学びに向かう子どもを育てる支援」（酒井智子氏）

●午後の部 13:00 開場

13:30～15:00 講演2「医師が考える特別支援教育の不易」（横山浩之氏）

15:15～16:00 Q & A （横山浩之氏、酒井智子氏）

資料代

午前・午後 それぞれ500円

申し込み方法 Google form、FAX、メールのいずれかでお申し込みください。



①Google form から <https://x.gd/w7gos> →→→

②メールから murayama@toyoki.org FAXと同じ内容を送信ください

③FAXから 下の送信票をお使いください。添書は不要です。

第12回特別支援教育セミナーin山形 FAX送信票

申し込み先 (050) 3527-0021 j F a x

※参加者名簿作成の都合上、複数名お申込みの場合、 <u>すべての方にふりがな</u> をお書きください。		参加される時間に○		
		午前	午後	全日
ふりがな				
代表者	(所属)			
	(所属)			
	(所属)			
	(所属)			
代表者電話番号 () 個人 () 所属先				
代表者メールアドレス				

その他 お問い合わせは、メールでお願いいたします。

お送りいただいた情報は、このセミナーでのみ使用いたします。

特別支援教育セミナーin山形 実行委員会とは

2006年に設立しました。家庭、教育、医療、福祉等との連携によって子ども達の健やかな成長を支援する団体です。

これまで、全日のセミナーを11回、半日のミニセミナーを19回開催し、のべ3,000名以上の方々からご来場いただきました。